

★第67回岩手県民体育大会

【空手道競技】 ▶成人男子組手個人 中量級1位＝佐々木優太(遠野市空連)、重量級1位＝佐々木貴弘(同) ▶成人男子形個人 1位＝在本幸司(同、岡山県出身) ▶成人女子組手個人 2位＝中世古なつき(遠野市空連)、3位＝池田寿鶴(同)

★第67回岩手県高校総合体育大会

【サッカー競技】 ▶男子 2位＝遠野高校
【空手道競技】 ▶個人組手 3位＝小嶋心誠(釜石商工2)

★平成27年度市中学校総合体育大会 ※優勝のみ

【バスケットボール】 ▶男子＝遠野 ▶女子＝遠野

【軟式野球】 ▶男子＝遠野

【バレーボール】 ▶男子＝遠野東 ▶女子＝遠野東

【ソフトテニス】 ▶女子団体＝遠野東 ▶男子個人＝正部家大輝、及川遼(遠野) ▶女子個人＝佐々木ひろ美、菊池七海(遠野)

【卓球】 ▶男子団体＝遠野 ▶男子個人＝菊池響輝(遠野西) ▶女子個人＝佐々木遥(遠野西)

【剣道】 ▶男子団体＝遠野 ▶女子団体＝遠野

▶男子個人＝佐々木魁斗(遠野) ▶女子個人＝菊池有結(遠野)

★第12回高校生フォトコンテスト

2席＝小林宥高(遠野緑峰3)、5席＝阿部優希(遠野緑峰3)

各種表彰者

Commendation

環境大臣表彰

(地域環境保全功労者)

琴畑 ハル子さん

65歳＝土淵町＝



平成8年から遠野市自然保護指導員として活動し、遠野の水源である琴畑湿原のパトロールや、希少な動植物の生息把握に尽力してきました。琴畑さんは「今後も、遠野の豊かな自然を守るための活動を続けていきたい」と受賞を喜びました。

県特産農作物生産振興協議会長賞

(県知事賞)



菊池 正則・節子さん
＝上郷町＝

夫婦二人三脚で、県の特産品である葉タバコ耕作に励み、品質改良や、生産ノウハウの普及に尽力してきました。二人は「土壌の改良など試行錯誤を重ね、さらに上質な葉タバコを生産したい」と決意を述べました。



★釜石商工高校空手道部
⑤ 綾織 舞 (3年、旧遠野中出身)
菊池 瑠偉 (3年、旧青笹中出身)

団体出場は逃すも、個人組手で全国へ。

県高総体の個人組手の部でそれぞれ準優勝し、インターハイへの切符を手にした綾織と菊池。頂点こそ逃したが、2人は豊富な練習量により裏付けされた経験と技術を生かし、安定した試合展開で順調に勝ち上がった。綾織は「1年生の時に大げがをして苦労した。今大会は、高校生活の集大成として全力を出し切る」と、菊池は「3年間で磨いてきた『刻み』の技術を全国の相手にぶつけ、悔いの残らない戦いをしたい」と抱負を語った。

「情報をお待ちしております」
スポーツや文化活動などで活躍した人の情報をお寄せください。
広報遠野で紹介しします。
問い合わせ 市経営企画部広報担当(☎62-2111内線231)



★花巻東高校ソフトボール部
⑥ 菊池 美咲 (3年、旧遠野中出身)
菊池 朋美 (2年、遠野東中出身)

4年連続県制覇に貢献。全国で勝利を目指す。

県高総体決勝戦で大東高校を5回コールドで圧倒し、4年連続インターハイ出場を決めた花巻東高校。菊池美咲は8番ライト、菊池朋美は4番キャッチャーとしてレギュラー出場し、4連覇の立役者となった。菊池美咲は「強豪の花巻東でソフトボールに打ち込んだことを誇りに、最後までチーム一丸で闘いたい」と、菊池朋美は「攻守で練習の成果を出しきり、先輩と一緒に悲願の全国1勝をかなえたい」と意気込みを語った。

団体組手の男女アベック優勝は、遠野出身の4人が支えた。

県高総体の団体組手の部で、男女アベック優勝を果たした釜石高校。女子は菊池と中世古、男子は細川と笹谷が勝利に貢献し、インターハイ出場権をもぎ取った。さらに、菊池と細川は、それぞれ個人組手の部でも優勝し、2冠達成。釜石高校の大躍進は、遠野出身の4人が支えたと言っても過言ではない。

菊池は1年生ながら個人優勝を果たした昨年に続き、2度目のインターハイ。「個人も団体も攻めの姿勢を貫き、勝利を重ねたい」と全国への抱負を語った。インターハイ初出場の細川は「スタミナをつけ、粘り強く戦いたい」と個人・団体の両部門での活躍を誓う。団体で出場する中世古と笹谷はそれぞれ、「高さとリーチを生かした戦いを展開したい(中世古)」「全国を体感し、次につながる大会にしたい(笹谷)」と意気込んでいる。

4人はまだ2年生。インターハイを経験し、さらに大きくなって帰ってくるであろう。



★釜石高校空手道部 ※写真左から紹介

菊池 亜美紗 (2年、遠野東中出身)

中世古 ひかり (2年、遠野中出身)

細川 大輔 (2年、遠野中出身)

笹谷 大海 (2年、吉里吉里中出身、遠野在住)

夏に挑む。

7月28日に和歌山県などを会場に開幕するインターハイ(近畿総体)に出場を決めた、遠野出身の高校生にインタビューした。【敬称略】

東北大会円盤投げで快投。40m越え狙う。

高総体東北大会の円盤投げで、自己新となる36.10mの記録で2位に食い込み、インターハイ出場権を獲得した。中学時代、砲丸投げで頭角を現した浅沼。陸上の強豪である北上翔南高校で専門的な指導を受け、現在は砲丸・やり・円盤投げの3種をこなす選手に成長した。浅沼は「得意な円盤投げで結果を出せてうれしい。40m越えを目指し、インターハイでは1投目から全力で臨みたい」と力強く語ってくれた。



★北上翔南高校陸上部
浅沼 花南 (2年、遠野西中出身)



★花巻北高校弓道部
菊池 望花 (3年、旧青笹中出身)

感謝の心を射に乗せ、目指すは全国制覇。

県予選で外したのは1本のみ。20射19中という圧倒的強さで、弓道女子個人でインターハイ出場を決めた菊池。団体では惜しくも全国を逃したが、6月21日に開催された東北高校選手権では初優勝を果たしている。「目標は全国の頂点。全国に行けなかった仲間、コーチ、家族など、今まで支えてくれた多くの人に恩返しするため、目の前の一射一射にすべてを込めたい」と活躍を約束してくれた。